

## 助産師とは

助産師とは、女性の妊娠から出産、分娩を助ける仕事です。

古くは「お産婆（さんば）さん」と呼ばれ出産の際に赤ちゃんを取り上げることを生業としていました。

産婆の歴史は古く、明治時代の中頃までは、特別な資格がなくても産婆として活動することができました。

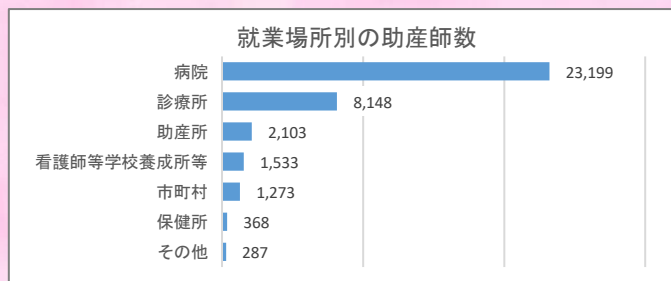
現在は資格化され、「保健師助産師看護師法」の下で行われる国家試験に合格した人が「助産師」となれます。

日本では、女性だけが助産師になれることを認められています。



## 主な働く場所

病院、助産院のほか、診療所、地域の保健所や母子保健センターなどで働いています。



出典：厚生労働省 平成30年衛生行政報告例

## 勤務について

病院や助産院などでは夜勤があるところが多く、月に6～8回程度、夜勤があります。

## 収入の目安

病院で就職した場合の初任給は、約21万前後。経験を積むと給料は、上がっていきます。

手当を含めた平均年収は、500万程度（令和元年厚生労働省賃金調査参考）です。



## 助産師の資格習得までのコース

助産師になるためには、様々な進路選択ができます。助産師になるには、看護師免許を持っていることが必須です。まず看護師になるための勉強をし、看護師免許を取得してからさらに1～2年間、助産師教育機関で学びます。



## 国家試験の合格率

看護師も助産師も、国家試験の合格率は例年90%台。2023年2月実施の国家試験では、看護師試験は90.8%、助産師試験は95.6%。



## 助産師のお仕事

### 助産師職能委員会



公益社団法人  
富山県看護協会  
Toyama nursing association

〒930-0885  
富山県富山市鶴島字川原1907-1  
TEL: 076-433-5680 FAX: 076-433-6428  
URL: <https://www.toyama-kango.or.jp/>

## 助産師の仕事の魅力

### 「病院で働く助産師の声から」



人の命にかかわる仕事なので責任重大です。無事に赤ちゃんが生まれてくるまでは気持ちが張りつめています。

それだけに、生まれてきた赤ちゃんを受け止める瞬間がやってきたときは…。「命の誕生に立ち会えて、いつも感動しています!」

助産師を目指したきっかけは、出産のプロとして妊婦さんを支えたいという気持ちからでした。

妊娠してから出産までの10ヶ月間、お母さんに寄り添い支え、無事な出産を迎えさせるその緊張感や出産を通じて親になっていく両親を正しい道に導くという責任感に身が引き締まる思いです。



自分が取り上げた子供が大きく成長していく姿を見ることに大変な喜びを感じます。自分が関わった家族の成長を見られるのこともやりがいの一つです。

命の誕生の場面に立ち合わせていただいているからこそ、子供たちに命の大切さや自分を大切にすることの大切さを分かってほしいと小中学校で命の教育をしています。子供たちがきらきらした目をして話を聞いてくれることは、とても嬉しく思っています。



## 助産師の仕事内容あれこれ

「お産に立ち会い、赤ちゃんをとり上げる」という印象が強い助産師ですが、実際の業務はそれだけにとどまりません。妊娠時の生活指導、妊婦健診の補助、母親学級の実施、産後の母子の体調管理、母乳指導、新生児指導など、産前から産後まで母子とその家族に寄り添い、きめ細かなサポートを行っています。また、最近では助産師が医師に代わって妊婦健診を担当する「助産師外来」、思春期・産後の女性の性の悩みや不妊治療に関する相談業務、「生命や性の教育」を行うなど、助産師の仕事の幅は以前にも増して広がりを見せています。

### お産の介助

助産師の仕事は、出産に立ち会い、赤ちゃんを取り上げることで、陣痛や破水を観察して出産開始の判断をすることから分娩期の仕事が始まります。姿勢や呼吸法を指導しお産に導いていきます。

助産師は出産に最も近い位置で立ち会い、生まれた赤ちゃんに最も早く触れることができる職業です。



### 妊娠中の母親教室



出産を迎えるにあたっての心構えや出産・育児準備のアドバイス、赤ちゃんのお世話体験、父親向けの妊婦体験などを行う「母親学級」「父親学級」を実施し、母性&父性を育てていくのも、助産師の大切な役割です。

### 助産師外来



助産師外来では、正常な経過をたどる妊婦さんに対し定期的に健康診査を行います。健診の内容は、妊婦さんのお腹の大きさや血圧、体重などの測定赤ちゃんの心音を聞いたり、エコー（超音波）を使って赤ちゃんが元気かどうかの診断を行います。

また、出産に向けての健康づくりのため、運動や食事、出産を迎える心構えなどを指導します。

### 出産後の保健相談

助産師は、出産後お母さんが順調に回復しているか、赤ちゃんが順調に経過しているのかを診ます。

赤ちゃんが生まれるとすぐに子育てが始まります。お母さんの育児の悩みを聞き、アドバイスしたり、母乳の与え方や沐浴のほか、抱っこの方やおむつ替えなどを指導したりします。



### 小児科（新生児集中治療室）



主に早産で産まれた低出生体重児や、何らかの先天性な疾患を抱えていたり、すぐに手術をする必要がある新生児の集中管理と治療を行っています。

小児科でも多くの助産師が専門的知識を持ち看護に携わっています。

### 小中学校での「いのちの教室」

助産師は、命の誕生に立ち会うことを通して命の尊さを感じることができるとして職業です。

経験と知識から培った確かな専門知識を、わかりやすく次の世代に伝えていくため、小中学校等で「いのちの教室」を実施しています。

